

# 最大規模 を可決

対前年比25億3千万円 6・04%の増  
しかし、基金から繰り入れることなく編成

区 分	平成24年度 当初予算額	平成25年度 当初予算額	対前年度比較		
			増減額	増減率	
一 般 会 計	253億円	272億4000万円	19億4000万円	7.67%	
特 別 会 計	住宅新築資金等貸付	1047万円	995万円	△51万円	△4.95%
	簡易水道	813万円	612万円	△200万円	△24.70%
	国民健康保険	79億8413万円	80億2245万円	3832万円	0.48%
	事業勘定	77億1354万円	77億5643万円	4289万円	0.56%
	直営診療施設勘定	2億7058万円	2億6601万円	△457万円	△1.69%
	後期高齢者医療	8億1006万円	8億3526万円	2520万円	3.11%
	介護保険	52億434万円	55億9222万円	3億8788万円	7.45%
	保険事業勘定	51億8111万円	55億6936万円	3億8825万円	7.49%
	介護サービス 事業勘定	2323万円	2286万円	△37万円	△1.60%
	下水道事業	19億9783万円	21億1796万円	1億2013万円	6.01%
	農業集落排水事業	3億9512万円	4億2118万円	2606万円	6.60%
	個別排水事業	2億6314万円	2億6492万円	177万円	0.67%
	工業用地造成事業	46万円	46万円	0円	0.00%
	特別会計合計	166億7370万円	172億7055万円	5億9684万円	3.58%
	合 計	419億7370万円	445億1055万円	25億3684万円	6.04%

平成25年度当初予算は、森田市政4年度の総仕上げの予算です。「親と子と孫が一層に寄り添う制度」を実現するための、6つの重点施策を予算化したものです。

一般会計予算は、272億4千万円で、前年度と比較すると19億4千万円、7・67%の増となっています。これは、国の経済対策への対応や、国営両筑平野用水

二期事業負担金の8億7千万円、甘木地区中心市街地整備事業（第二期）の4億6千万円のほか、災害復旧事業費等によるものです。

特別会計予算（9会計）の合計は、172億7千万円で、前年度と比較すると5億9千万円、3・58%の増となっています。これは、介護保険特別会計3億8

千万円増などによるものです。予算総額は、445億1千万円となり、前年度と比較すると、25億3千万円、6・04%の増となります。

歳入は、市税については、法人市民税の回復や、たばこ税の県からの移譲等による増が見込まれることから、7千万円、1・0%の増となります。また、地方財政計画において、地方交付税が2・5%の減、臨時財政対策債が1・3%の増、合計で1・3%の減となっていますが、これは国家公務員と同様の職員給与削減

分が計上されたもので、本市においては3千万円、0・3%の減となっています。歳入の根幹をなす市税、地方交付税等の一般財源は、2千万円、0・1%の微増となり、前年度同様に財源補てんとして基金からの繰り入れに頼ることなく予算編成を行っています。

地方交付税や臨時財政対策債頼みの厳しい財政状況の中、合併加算の優遇措置の終了に向け、行政評価システムの活用による事務事業の見直しなど、行財政の健全化により一層取り組むことが必要です。

「両筑平野用水二期事業負担金」に  
8億7421万円

「地域環境整備事業補助金」に  
5000万円

水資源機構の直営で両筑平野用水の老朽化した施設を改築・更新し、その事業費の一部を負担金として支払うもので、平成17年度から平成24年度の工事負担金の一括償還及び平成25年度工事負担金直入分を計上しています。江川ダム利水放流施設改築、寺内導水路・三奈木導水路改築、女男石頭首工・甘木橋頭首工改築、幹支線水路改築などを行います。



事業により整備された市道

各地域の施工で行う市道及び里道の改良、舗装補修、水路の改良、補修などの工事に対して、補助金を交付します。

# 合併後 大型予算

一般会計当初予算 272.4億円 (前年：253.0億円)  
 特別会計当初予算 172.7億円 (前年：166.7億円)



民間委託で利便性の向上を

下水道事業（公共下水道事業、農業集落排水事業、個別排水事業）の料金徴収等窓口業務を民間業者に委託するものです。

「下水道窓口業務民間委託」に  
3071万円

情報化社会に適応する児童・生徒を育成する観点から、小中学校におけるIT教育を推進すると共に、校務の効率化を図るため、小中学校合わせて20校のパソコン教室の整備及び校務用パソコンの更新を行うものです。

「小中学校パソコン更新事業」に  
2億8110万円

非正規労働者や中高齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期雇用・就業機会の創出や提供を行います。

「緊急雇用創出事業」に  
4328万円

太陽光発電設置予定の三連水車の里あさくら



平成24年度に実施した再生可能エネルギー導入の可能性調査事業である、福岡県再生可能エネルギー発電設備導入促進事業の調査結果に基づき、三連水車の里あさくらの本体屋根に太陽光発電設備を設置するものです。

「太陽光発電設備導入」に  
3600万円



第二期整備計画図

甘木中心市街地を、賑わいと交流の拠点として再生し、魅力的で安心して暮らせる市街地環境を創造するもので、平成25年度から第二期工事に取ります。

「甘木地区中心市街地整備事業（第二期）」に  
4億6467万円

朝倉市役所本庁南玄関に音声案内を設置し、北玄関に点字ブロックと床の滑り止めの整備を行います。

「本庁点字ブロック・音声案内設置」に  
340万円

定額の旅行雑費を廃止し、同一地域内の移動に要した交通費は旅行雑費として実費を支給することにより、250万円の減額となります。

「旅費制度の見直し」により減額  
△250万円

市民の安心のために



急傾斜地の崩壊による災害から住民を守るため、杷木地区（穂坂、白木、池田、星丸）の崩落防止のための工事を行うとともに、市内土砂災害危険箇所点検調査を行います。

「急傾斜地崩壊対策事業」に  
6220万円

# 徹底チェック



平成25年度朝倉市一般会計予算については、3月定例会で、議長を除く19人の議員で構成される予算審査特別委員会を設置し、3日間の日程で審査し、原案のとおり可決しました。

その中で取り上げられたいくつかの質疑・応答を要約して紹介します。

## Q コミュニティ協議会会長に対して市から報酬等の支払いは

**A** 現時点で支払いは考えていない

**Q** 4月からのコミュニティ移行に際し、市からコミュニティ協議会会長への報酬等の支払いはないのか。

**A** 市から報酬等をもらうことにより、自分たちの自由な活動を束縛されたくないという意見もあり、市とコミュニティが対等な関係である中で、会長に制約や強制力を持たせるのは失礼にあたるという観点から、現時点では報酬を支払うことは考えていない。コミュニティの振興を図ることについては、市も常に念頭に置いて考えていく。

**Q** 活力ある高収益型園芸産地育成補助事業の、平成25年度の具体的な補助内容は。

**A** とよみつひめの集出荷施設の整備を平成24年度から2年間の継続事業で行う。ビニールハウスや灌水施設等の整備19件を行う。

**Q** 新規就農総合支援補助事業に係る今年度の目標や重点施策は。

**A** 農地付き空き家住宅の調査を続行しており、現在900件の調査が終了し、所有者に対して確認を行って、今年度は整理作業に入る。また、新規就農者に対して、ほ場見学会や作付見学会を開催した。福岡市か

**Q** 農業振興の重点的施策は

**A** とよみつひめの施設の整備や新規就農者の確保に努めたい

らの参加もあり、PR活動の成果だと考えている。今後も積極的に周知を行い、魅力を伝えるとともに、誘致活動を行っていききたい。



補助事業により導入されたビニールハウス

## Q 予防接種事業の予算増の要因は

**A** 不活化ポリオワクチンに変更になったことなどである

**Q** 妊婦支援事業と予防接種事業（未成年）の予算がかなり増えているが、今回増額になった要因は。

**A** 妊婦支援事業は昨年度からGBSとクラミジア検査が追加になったことや、妊婦健康診査を14回まで公費負担で行っており、利用する回数が増えていることが要因である。

予防接種事業は、昨年9月から生ワクチンが不活化ポリオワクチンに変わった関係で単価が1万円近く増えたこと、回数が2回から4回に増えたこと、3種混合にポリオが加わり4種混合になったことで、費用が倍近くに上がったことなどが要因である。

**Q** コミュニティセンターの整備についてのルールを整理すべきではないか

**A** ルール化を図る方向で検討したい

**Q** コミュニティセンターのエアコン等の整備について、現時点では地域で設置することになっているが、地域ごとに格差が生じる恐れがあるので、市として整備についてのルールを整理すべきではないか。

**A** 非常に重要なことだと思われ、地域によって資金力にも差があるだろうから、どのような形で支援が出来るのかを踏まえ、実態も勘案した上で、何らかのルール化を図る方向で検討を進めたい。

# 予算を

**Q** 国民健康保険特別会計の繰上  
充用を削減させる施策は

**A** 直ちに結論が出せない問題もあるが、  
十分議論していく

**Q** 国民健康保険特別会計の歳入不足に係る繰上  
充用が3億1千万円に上ることに対する、施策  
や今後の方向性はあるのか。

**A** 考え方としては、徴収の問題、市民の健康の  
問題、国保税率の問題、一般会計繰入金の問題  
があらうかと思う。徴収の問題については、徴  
収体制を整え、今以上に徴収実績を上げていく。

市民の健康の問題については、健康上の留意  
点がいくつか見えてきているので、集中的に市  
民に周知し、健康診断をしっかり受けていただき、  
病院にかからないでいいような健康状態を維持  
していこうという考えである。市内にも医療費  
を抑制するための検討委員会があり、平成25  
年度は外部の専門家等も入れて、回数も今以上  
に充実させ取り組みを行っていく。

後の2つの問題は、大きな施策の議論や判断  
などが必要であり、一方で市民の負担の問題が  
あるので、直ちに結論を出せない。現在の国保  
税率は県内水準よりも高いレベルにあり、今以  
上に負担率を上げていくのかについても十分議  
論していかなければならない。

**Q** プレミアム商品券の運用に問題  
はないか

**A** 問題認識を持ち運用を行っていく

**Q** プレミアム商品券の運  
用に問題はなかったか。

**A** 購入に代理の方の購入  
が可能であり、本人以外に  
も売っていたということも  
考えられるので、本人しか  
買えないという取り組みを  
周知していかなければなら  
ない。

**Q** 利用する一回あたりの  
限度額を決めた方がよいの  
ではないか。

**A** 限度額を設けようとい  
う議論はなかった。実際、  
リフォームや車の購入に利  
用された例もあり、一回あ  
たりの限度額を設けるのは  
運用上難しいと考える。一

人あたりに売ることが出来  
る上限額10万円を守ってい  
ただけるような運営を行  
いたい。

**Q** リフォームや車の購入  
なども認めて規制が出来な  
い。

**A** 大きな問題の一つだ  
という認識を持ち、今後の運  
用に活かしていきたい。

いところが、こういった混  
乱を招いているのではない  
か。



多くの市民が利用しやすい  
運用を（写真は昨年度）

**Q** 定住人口を増やす対応はあるか

**A** 他の市町村にない魅力的な部分を  
PRする

**Q** 市民税が減少しているが、市民サービスの向  
上のためには税の確保が大事なことであり、労  
働者の定住人口の増加を図る対応はあるか。

**A** 子育てに係る経済的負担の軽減や、女性が働  
きやすい環境の整備、さらに、高齢者が元気に  
活躍できる社会の構築というような考え方をも  
って予算の組み立てを行った。少子化の問題等  
で厳しい状況であるが、定住化を促すために、  
今住んでいただいている方はもちろん、入って  
こられる方にも、近隣の市町村より朝倉市がよ  
り魅力的であるということをPRしていきたい。

**Q** 緊急通報システムはどう変わるのか

**A** コールセンターで一括して受け付ける

**Q** 緊急通報システムはど  
のように変わるのか。利用  
者負担は発生するのか。

**A** 今まで固定式電話だっ  
たものを携帯電話に変え、  
緊急時は24時間対応のコー  
ルセンターで受け付け、緊  
急であれば消防署へ、相談  
であればコールセンターに  
いる看護師、介護士等の専  
門スタッフが対応する。

携帯電話に付いている人感  
センサーやGPS機能での  
見守りや、毎日一定時刻に  
コールセンターから声掛け  
し、安否確認を行うなどの  
機能を考えている。利用者  
負担は今のところ考えてい  
ない。補助事業である介護  
保険の地域支援事業を活用  
し、財源の確保に努めたい。